

E-14 住宅の向取りに関する研究—(その6)アメリカの公共・民間住宅の向取  
静岡英和女学院短大 前原匡子 (1968年~1970年)

アメリカ連邦住宅局(FHA)は民間住宅として1968年中低所得者用ローコスト住宅の応募を全米建設業者のらちこちで、その結果都市開発局(HUD)が88の応募作から70レハブ独立住宅10社10住宅の入選案を決定し、同年9月試作建設された。又1970年もFHAはオペレーションブレイクスルー(住宅突破作戦)として、工業化住宅のプロトタイプ・コンプレックスを、全米多数の民間建設業者の応募から22社の入選が決定した。公共住宅としてアメリカ連邦住宅局が中・低所得者用として最近建設した高層住宅約100種のうち典型的なものを5タイプの向取りを採り、これらのアメリカにおける公共・民間住宅が、ここには本小論(その2~その5)で調査した我国のほぼ同時期の民間住宅(1970年建設省・通産省・建築センター主催によるパイロットハウス入選作)70レハブ独立住宅7社7住宅及び公共住宅として1970年建設省の11階建高層公営住宅基本設計の5タイプの向取り(1)構造 (2)居住面積 (3)居住様式 (4)工期 (5)価格 (6)設備等の住生活水準の面から比較し、向取りに示された日本とアメリカの住いに対する根本的な意識の相違と我国の住生活水準の遅れの原因をめぐり、向上に役立ちたい。

※昭和46年10月住宅の向取りに関する研究—(その5)1970年以降の公共・民間住宅の向取の傾向)  
日本家政学会総会講演要旨(前原)